

令和7年度第1回名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会 会議録

1 日時 令和8年2月2日（月）午前10時～午前11時30分

2 場所 名古屋市公館 1階 レセプションホール

3 出席者 審議会委員 南部 初世 会長
 津金 美智子 委員
 小松 尚 委員
 建内 高昭 委員
 山本 秀雄 委員
 中田 俊夫 委員
 伊東 慶 委員
 長谷川 友美 委員
 袴田 亜希 委員
 望月 健太郎 委員
 事務局 総務部長はじめ12名

4 傍聴者数 1名

5 議題

- ・ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画に基づく取組状況について（公開）

6 議事

No. 1

発言者	発言
事務局	<p>お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただいまより、名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会を開催いたします。私は進行役を務めさせていただきます教育委員会教育環境整備課長の鈴木と申します。どうぞよろしく願いいたします。着座にて進めさせていただきます。</p> <p>本日は、全委員の11名中10名の方にご出席をいただいております。名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会条例第7条第2項により、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>始めに2点ご案内を申し上げます。</p> <p>1点目は、災害が発生した時の対応についてです。万一災害が起きた場合の対応ですが、入室された出入口から職員の指示に従って避難していただきますようお願いいたします。</p> <p>2点目は会議の公開についてでございます。本審議会は、名古屋市情</p>

発言者	発言
事務局	<p>報公開条例第 36 条の規定により、公開が原則となっております。そのため、非公開情報を審議する場合などを除き、公開とさせていただくことをご了承いただきたく存じます。</p> <p>本日の傍聴者は 1 名です。傍聴される方に申し上げます。名古屋市子どもいきいき学校づくり審議会の会議の傍聴要項の規定により、傍聴者は静粛を旨として、配付した資料「傍聴者の方に」に記載のある、会議場における言論に対して拍手その他の手法により公然と可否を表明しないことや、会場内では、写真、ビデオ等の撮影、録音等は行わないこと等を遵守していただき、円滑な議事運営にご協力ください。</p> <p>それでは会をはじめさせていただきます。初めに、総務部長よりごあいさつを申し上げます。</p> <p>(あいさつ)</p> <p>ここでみなさまに少しお時間を頂戴したく存じます。本市では様々な機会をとらえ、市の人権施策の取り組みを紹介させていただき、人権教育の推進に努めております。議事に入ります前に、本市の人権施策についてご紹介をさせていただきます。</p> <p>(人権施策について説明)</p> <p>それでは、本日の審議会の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料確認)</p> <p>続きまして出席者紹介に参ります。昨年 11 月にすべての委員が、改選されており、新しい委員の方もお見えでございます。順番に皆様から自己紹介を賜りたいと存じます。</p> <p>それでは、反時計回りで、どうぞ着座のままをお願いいたします。</p> <p>(自己紹介)</p>
事務局	<p>それでは次第に入る前に、本審議会の会長の選任を行います。</p> <p>会長につきましては、条例第 6 条第 1 項に、委員の互選により定めると規定され選任にあたって、委員の皆様からご推薦をいただきたく存じますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>それでは私の方から推薦させていただきたいと思っております。先ほどご紹介がありましたけども、大学でのご専門とこれまでのご経験から、南部</p>

発言者	発言
事務局	<p>委員にお願いするのがよいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>ただいま委員から、会長に南部委員を推すご意見がございましたが皆様いかがでしょうか。</p> <p>ご異議がないようでしたら、推薦の通り、南部委員に会長をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>(意義なし)</p>
事務局	<p>それでは会長を、南部委員にお願いしたいと存じます。恐れ入りますが、会長は、中央の席にご移動を願いたいと思います。</p> <p>会長よろしく願いいたします。</p> <p>これより先は南部会長に議事進行をお願いしたいと存じます。</p>
会長	<p>改めまして、どうぞよろしく願いいたします。それでは議事を進めさせていただきます。皆様議事進行につきまして、ご協力くださいますようお願いいたします。</p> <p>まず、会長職務代理者の指名をさせていただきます。</p> <p>条例第6条第3項の規定によりますと、会長職務代理者は会長があらかじめ指定することになっております。したがいまして、私から、会長職務代理者になる委員を指名させていただくことといたします。</p> <p>津金委員にお願いしたいと存じます。</p> <p>お引き受けいただけますでしょうか。</p>
委員	<p>務めさせていただきたいと思います。</p>
会長	<p>では、本日は、請願がございませんので、このまま次第に入らせていただきます。</p> <p>本日は、個別の諮問ではなく、ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画の推進につきまして、現状と進捗状況等について、事務局からご説明いただき、委員からの忌憚のないご意見をいただきたいということですので、よろしく願いいたします。</p> <p>それではまず、次第1、「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画に基づく取組状況について」の(1)小規模校の現状から(3)統合後の効果測定について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から、(1)小規模校の現状から(3)統合後の効果測定につ</p>

発言者	発言
委員	<p>きまして、ご説明をいただきました。</p> <p>委員の皆様からご意見やご質問等ありましたら、よろしくお願いたします。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>たかしま小学校のアンケートからはいろいろと考えさせられることがたくさんありました。その中で、たかしま小学校になって学校まで遠くなりましたかという設問に6割以上の児童のみなさんが遠くなったと回答をされています。遠くなったんだけど友達と関わることができて楽しかったという意見もあるんですが、遠くなったことによって、事故等も考えられるかなと思うので、そういった遠くなった児童の声に対して何か学校とか地域とかで対策をされたことについてお聞きしたいと思いました。</p>
事務局	<p>今、たかしま小学校は高坂小学校としまだ小学校が統合して今は高坂小学校の方に統合校があり、しまだ小学校の方が高坂小学校よりも子どもの数が多かったので、多くの方が、遠くなったというふうに回答しているというところです。</p> <p>それにつきましては、まず、登校前につきまして、新しい学校づくり懇談会というものを行っております。その中で、安全対策というところ、保護者の方や学校と話し合っ、事務局から警察の方や土木事務所の方に要望しまして、信号の時間を長くしてもらったり、白線等消えかかっているものは新しく引き直してもらおうですとか、そういったことをしております。またですね、たかしま小学校のところはかなり高低差があっ、通学が大変だということもあまして、登校の時には、こちらの方で、通学支援員を雇いまして、分団のですね、一番最後から子どもたちと一緒に、通学支援員さんに登校していただくというような取り組みを行っております。またですね、下校時は、スクールサポートスタッフですとか、学校の先生に途中まで付いてもらって子どもを見送るとか、また、暑さ対策としましては、学校の方にウォーターサーバーを設置しまして、帰りに水筒に水がなくなった児童に水を水筒に入れて帰ってもらっているというところです。</p>
委員	<p>ありがとうございます。統合後、9か月経ったところでのアンケートですので、「よかった」「よくなかった」という両面から回答が寄せられているのですが、だからといって、割合の多い方に合わせて短絡的に「こうだ」と言えるものではないと考えます。むしろ、これからこういった両方の声を聞いて、児童同士も先生同士も、地域の方も保護者の方も一緒になって、新しい学校をつくっていくというプロセスの中で互いに理解し合っていくことがとても重要なんだと、これら</p>

発言者	発言
	<p>のアンケートの結果から考えさせられました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。他、委員の皆様からいかがでしょうか。</p>
委員	<p>資料1ですが、名古屋市内の小学校で小規模校の一覧があります。この中で笹島小学校は、2010年に統合した学校で、15年ぐらい経過しましたが、もうすでに小規模校となり、このリストの中にいて、次のことを考えないといけない対象になっています。子どもの数の変動にはかなり地域差があり、漸減ですが維持できている地域と、かなり速い速度で減っている地域があると思います。資料1によると、大きな傾向としては市の都心部と縁辺部が減り方の大きい地域だと思います。</p> <p>このことは、早くも2回目の統廃合を考えないといけない地域が近い将来に出てくる可能性があることを示しています。これに対して、後手にならない計画をしていく必要があると思います。今日はその指摘のみさせていただきます。</p> <p>これ名古屋市だけではなく、愛知県内の私が知る限りでも、そういう2回目の統廃合を検討している自治体があります。10年前に統合したけれども、予想よりも子どもの数の減少が早いためです。つまり若い世代が入ってこないエリアでは、統廃合時に新築で校舎を建てたものの、次の統廃合をもう考え始めている地域もあります。よって、統廃合という方法は15年、20年、30年後にまた同じような対応を検討しないといけないことだけ、今日は指摘しておきたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。事務局から委員に対してコメントとか何かありますか。</p>
事務局	<p>今、笹島小中学校がすでに小規模校化してしまっているということですが、こちら名古屋駅前の学校で、もともとの六反小学校、新明小学校が非常に小さな学校でして、とにかく統合しないと学校がなりたたないという中で統合したという部分もございまして、先生おっしゃられるように、また小規模化してしまうんでないかという課題については、我々としてはまず、統合して、推計に基づいて何年か先までは、一定の12学級以上の望ましい規模が確保できるというような状況をまず、目指したいと思って、現状も単学級の学校も多数ございますので、そういったことを目指していくということでございます。ただ、10年20年先を見据えてでございますが、まずは、地域の基本は中学校ブロック内での統合というのを原則としておりますので、そうしたところからの、統合のプランとなっているところでございます。ご意見ありがとうございます。</p>

発言者	発言
会長	委員よろしいでしょうか。
委員	<p>この冊子の資料で、統廃合がこういう形で進んでいるということ自体は、よくわかったんですけども、同時に必ず廃校が生まれ、その跡地をどうするのかという課題が生まれます。これまでのこの審議会での答申でも、その廃校の利活用について、速やかに検討していただくということを、明記しています。つまりですね、統廃合はそれ自体すごくエネルギーがかかるんですけども、同時に廃校になった跡地、それは非常に重要な公有地なのですが、それが長い期間放置されていることは街にとってよいことではありません。また最近では、その跡地を比較的簡単に売却してしまいがちなのですが、そうではなく、やはり全市的な視点で検討いただきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。統合後の跡地活用につきましては、現在全市的に資産活用というところを考えながら、貴重な公有地でございますので、全市的なところで考えていきたいと思っております。ただ昨今の建築状況そういうのを見ますとなかなか新しいものを作ることは厳しいところもありますので、重要なこれからのまちづくりという観点も非常に考えていかないとはいっておりますので、そういった面で資産活用をいかにしていくか担当部署と考えていきたいと思っております。</p>
委員	<p>はい。ありがとうございます。もう1つ加えたいのですが、名古屋市の小学校と中学校は、ほとんどが戦後に開発されたものです。その開発時に、これは関東大震災後の内務省の通達で全国に広まった方針なのですが、学校の隣に公園を設けて、災害時の避難所にする方針で整備されています。</p> <p>もちろんですね全ての学校にあるわけではないですが、私の知る限り、約1/3の小中学校の隣には公園があります。学校公園とか学校隣接公園と呼ばれますが、その2つは名古屋市のように開発が進んだ市街地の中では重要な公有地なのです。ところが、それぞれは所管が違います。公園は緑政土木局であるに対して学校は教育委員会です。今まさに、全市的、他の部局長とも連携しながら進めるという話がありましたが、是非、その2つを将来のために有効に活用していただきたい。これは、戦後の名古屋の都市計画のレガシーだと私は思っています。先輩たちが作ってくださった非常に重要な都市計画上の遺産だと思っています。それをうまく活用していただいて、次の世代にとって、有益な場所にいただきたいなと思います。よろしくお願いいたします。</p>

発言者	発言
会長	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>資料1の裏に、市内の小規模校の取り組みの状況がございまして、例えば、いきいき計画以前の統合校なごや小学校というのは、3つの小学校が統合されてそのまま、そのなごや小学校の子どもたちがそのまま、菊井中学校というところに、メンバー変わらずそのまま進学するという形です。5番の浮野小学校と平田小学校の統合に関して、浮野小学校と平田小学校の子どもたちがそのまま統合したその小学校のメンバーが変わらず、平田中学校に進学するという認識であります。</p> <p>それで小学校の人数が少ないから統合するっていう、何で統合するのかっていうところで、その人間関係が、人数が少ないと固定化してしまうとかそういう理由が、資料の中でも挙げられてたと思うんですけども、小学校から中学校に行ったところで、メンバーが変わらないっていうのが、それはそこでも人間関係の固定化っていうのが、私は一保護者としてちょっと申し上げさせていただいてるんで、生まれるのではないかなっていうのが、認識としてあるというか、懸念としてあります。さっき教育委員会の方が、実際に人数が少なくて小学校同士統合を急がなければいけなくて統合してますっておっしゃっていましたが、小学校から中学校をそのまま、進学してメンバーが変わらないってところに対して、一貫校とか併設校でない学校に関して、どのようにお考えになってるのかっていうことをお伺いしていいのかわからないんですけど、なんていうか、多分、一貫校で笹島小中は多分考えられておられると思うんですけど、そうではなくて、別に場所も離れているけれども、実質、メンバー変わらず、子どもたちがそのまま進学するような学校について、どのようにお考えになって、動いてくださっているのか一保護者として気になるところなので、お聞きしたいと思います。</p>
会長	<p>では、事務局よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>小学校のうちから同じメンバーで中学校上がっても同じメンバーなので、変わりが無いんじゃないかというような、そんなご質問だったかなというふうに思っています。</p> <p>今ですけれども、統合に対象となっている学校などを見ると、やっぱり1学年1クラスっていう状況の学校だもんですから、本当に、小学校1年生から小学校6年生の6年間という大切な時間を、本当に少ない人数少ない関わりの中で、学習教育活動を進めていかなければいけないことを考えると、中学校になって一緒になるから小学校のときはそのままっていう考え方ではなくって、小さいうちから、やっぱり、</p>

発言者	発言
事務局	<p>たくさん子ども、たくさん大人と関われるような環境を作ってあげることが、子どもとしては、子どもにとっていい環境じゃないかというふうに考えていますので、小さいときからそのような環境を作ってあげたいと考えています。そうなれば、複数学級になればクラス替えもできるということですので、1年生から6年生の時からも適正な規模の学校を作ってあげたいと考えているところです。</p> <p>私の方からですね笹島は一貫教育校、それ以外のところの一小一中はどうしていくのかとのご質問だったと思います。名古屋市は令和6年度に、第4期教育振興基本計画を策定し、コンパスプランとっておりますけれども、そちらの方に一貫教育の推進という事で、幼児教育、幼児期から、青年期、一貫して校種間における、連系、連動の推進ということで、中学校ブロック対話を、これからやっという事で、中学校ブロックの中学校と小学校が定期的集まりながらどういう教育をしていこうかというようなこと、例えば、校種間で連携した授業であるとか、先生方の交流をやるということで、一貫教育校ではないんですけれども、そうした一貫教育をブロックの中でどうやってやっていこうかというようにところを大切にしながら、9年間、共通なもの、教育的な目的も、今後、そういったものを図っていきけるような形の対話をする場面、そういうものを積極的に行っていきたいということで、担当部署が進めているところでございます。</p>
委員	<p>ありがとうございました。ちょっと話がずれてしまうかもしれないんですけど今のように、幼小中の連携ってお話をなさってたんですけど、私、幼稚園の代表なんですけれども、幼小連携っていうのを、よく幼稚園で掲示で見まして、例えば今年度だと幼稚園の年長さんの子どもたちが、給食を小学校に食べに行き、その小学校の1年生の子ども達なのか何か交流をさせてもらうというイベントがあって、年度を通して何回かそういった機会を設けていただいて、幼稚園児の保護者としてはとっても安心な部分がありまして、地域の小学校に進学するにとっては特になんなんですけれども、なので小中で、どういった連携なってるのか、私が存じ上げないので申し訳ないんですが、そういったことをやっていただけると、親としてもメンバーが固定したっていうのはちょっと懸念ではあるけれども、小中連携してるんだなということがわかると安心かなと今思いました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>今委員からご指摘がありましたように、幼少、小中、中高の縦の繋がりをスムーズにしていこうっていうのが、今全国的な方向性でして、例えば幼少だと小一ギャップ。小中だと中1ギャップっていうのを少しでも和らげるためにですね、そういうところに力を入れてきているところ</p>

発言者	発言
	<p>ですので、名古屋市としてもその点、教育委員会は、十分お考えいただければありがたいと思います。</p> <p>先ほどの小中連携小中一貫、それとあと義務教育学校等も含めて他の自治体で進められている改革についてもですね、名古屋市は学んで、ある程度、名古屋市でも導入するっていうことも含めて、教育委員会の中でご検討いただければと思います。</p> <p>また、あと、先ほどのご指摘もありましたけれども、結局これ教育委員会だけでは行うことができませんので、名古屋市の中の他部局とのですね、連携協働というのが必要です。その際目の前のことだけ考えていると、子どもたちにとって、最善の教育を提供するっていうのがなかなか難しくなりますので、2040年、それ以降を見据えて、教育政策を考えるということになってますので、名古屋市のまちづくりの政策も含めて、少し先のスパンまで、スパンを長くってですね、考えていく必要があるのではないかと思います。そういう、皆様方からのご提案と受けとめました。他、何かございますでしょうか。</p> <p>じゃ、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>お願いします。今資料を見させていただきますと、令和7年度に小学校が260校あるかと思うんですけども、これを、中長期、或いは短期でいいと思うんですけど、どんな形で、名古屋市は学校数を作っていくのかっていうのは、何か見通しがあったりしたら教えてください。</p>
事務局	<p>はい。今260校ある小学校の数を今後どのように、小規模校、統合の対策を、やっていくのかとのご質問と思います。</p> <p>我々の方ですね現状小規模校の方が小学校で60校とか、それぐらいございますが、今、それぞれのケースに統合に取り組んでおりまして6ケースで決定しているところでございます。ただ統合決定すればそれで終わりっていう状況でございませんでして、開校に向けた安全対策ですとか、校舎の整備ですとか、そういったことも行っております。そうした中ですね、なかなか新たなケースに取り組みできていないという現状でございます。</p> <p>今後につきましてはですね、先ほどの資料のところでも地図で載せさせていただいておりますが、特に、各学年1クラスしかないような単学級というのがやはり学校の規模としても課題があるのかなというふうに考えておりますので、そういったところの学校から対応していく必要があるのかなというところです。</p> <p>具体的にいついつまでにどれくらい統合してっていうのは、現状、持ち合わせてないというところでございます。</p>
会長	<p>他、何かございますでしょうか。</p>

発言者	発言
委員	<p>先ほど会長さんの方から他部局との連携が必要ということで自分も本当にその通りだなというふうに感じました。</p> <p>自分からは先ほどたかしま小学校のところの話で通学支援員という話があったんですが、現場の立場からちょっと発言させていただくとやっぱりこの通学に関わる不安っていうのは、子どもも保護者さんも、めちゃくちゃ大きくなっていうふうに感じるところがあります。</p> <p>地域だとか保護者で社会全体で、子どもの安全を見守るっていうことがとても大切かなというふうに思うんですが、この統合にあたって通学が変わるっていう子も、何かしら出てくるかなというふうに思いますので、特にそこの変化があったところに関しては、通学支援員などの人の配置だとか、何らかの手だてが、他の学校さん統合校においても行われるといいかなというふうに思いますので、意見としてお伝えしていただければなというふうに思います。以上です。</p>
会長	<p>事務局から何かございますか。</p>
事務局	<p>通学の安全対策につきましては、ご指摘いただきましたように保護者の方、子どもにとって一番不安が大きいところかなというふうに考えております。統合にあたりましてはですね、開校の前年度までに、保護者の方地域の方々と一緒になってですね、通学路をどういうふうにしていきましょうとか、ここが危ないからこういう対策が必要でしょうかっていうような話し合いをしっかりとですね、対策に取り組んでいるところです。学校でもですね、子どもたちに対して、通学路の練習会を実施したり、また通学指導につきましても実施しているところでございます。一緒に子どもと歩くという通学支援員につきましても、統合校においては、子どもたちが、安全に慣れるっていうところまでは、すべての統合校で実施していきたいと考えております。</p>
事務局	<p>つけ足しというかですねこれまでの統合校での安全対策ということで、PTAの方にもちょっとお力添えをいただきながら進めているそういった事例をお伝えさせていただきたいと思います。</p> <p>例えば、たかしま小学校だとか、今度開校します、みやこ小学校なんかでの取り組みとしましては、特にみやこ小の方は、これまでもPTAの方で旗当番活動といって、登校時の見守り活動をしていただいていたんですけれども、それに加えて、全世帯に黄色い旗を配布させていただいて、ここに時間がある時に立って欲しいなというようなポイントを地図上で示させていただいて、手の空いてるってか朝余裕のある保護者の方ができるときにできるタイミングで見守り活動をしてもらうというような、そんな取り組みをしています。</p>

発言者	発言
会長	<p>さらにやっぱり黄色い旗っていうのはなかなか大きい旗で、なかなか大変だっていう声もありまして、折り畳みの小さくコンパクトになる黄色い旗を配布しておりますので、出勤前だとか、そういったときに旗を持って見守りをしてそのまま旗はかばんの中にしまって持っていけるような、そんな取り組みをみやこの方ではやる予定になっています。</p> <p>あと、たかしまの方では、統合が決定する前のところで、やっぱり止まれというか子ども達が、交差点なんかでしっかりと、注意をより払うために、PTAの取り組みである、足形マークっていうのをやっているところもあると思うんですけど、横断歩道の手前に足のマークを、スプレーでこうやったりするのがあるんですけども、たかしまの方では、シールで張るタイプの止まれシールっていうのがあってそれをPTA活動の取り組みとして、シールをトンカチで叩くと。そういった安全対策もあります。PTAのご協力のもとでやっていただく事項もあります。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>やはり通学路の問題が一番大きな懸念事項となりますので、もうすでに統合したところで今ご紹介いただいたような工夫等ございましたら、こういうことを非常にしっかりやっているっていう、それで効果が出ているという事を、もう少し市内の皆様に見ていただけるような形で情報公開したほうがよりよいかと思いながらお聞きしました。他、何かございますか。</p> <p>じゃ、よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>はい。</p> <p>PTAの話題になりましたのでお願いいたします。</p> <p>統合にあたっては皆さんがPTAの方とも密にコミュニケーション取っていただいて、その中でこういう事例がありますよというお話もしていただいと認識しておりますので、特段何かPTAの立場から、こういうことが心配だなあということがあるかと言われたら、そうではないかなと思います。</p> <p>ただ一方で、PTAについて、ここにいらっしゃる皆様方と、今現場で起こっていることっていうのが現状すり合わせ認識が、しっかりとそろってるかなあということに関しては、もう一度確認をいただきたいなというふうに思っています。</p> <p>例えばPTAの、今任意性が進んでおりますけれども、かなり加入率、全校生徒の4割から、5割ぐらいで加入するようなイメージになっています。ほとんど人がいないということです。</p> <p>加えて、トワイライト、自校のケースですと、自分は西築地小学校なので、もう来年度は全部単学級になる学校のPTA会長させていただいておりますが、そこではですね1学年30人いたらですね、もうほぼ9割</p>

発言者	発言
	<p>はトワイライトに登録をしている。つまりそれだけです。トワイライトを使うような共働きの家庭が、すごく増えているということになっています。なのでですね、そういった部分の共働きが増えつつ、PTAも何とかやっていかなきゃいけないと、そんなところで何ができるかというところですね、なかなかやっぱりPTAの力だけで、子どもたちの安心安全を守っていくところに関しては今後さらに厳しくなっていくということがあるかなあと思います。</p> <p>ちょっとあわせて、お話しできたらと思うんですが、関連してですね、PTAも結構学区の皆様との連携っていうか地域のお祭りとかいうところに出ていったりということもさせていただいております。</p> <p>なので学区との繋がりみたいなところですね、今回あまり資料の中では表現はされておられませんけれども、そういった学区に対しての部分も、もう少し、統合後こういうことが、こういう取り組みをしたよという事も教えていただくと非常にありがたいなというのが2つ目でございます。あと1点だけすいません。</p> <p>これはちょっと提案というか意見ぐらいなんですけど。</p> <p>横向きの資料の5ページ目のところで、先ほど、35人学級に何年度からなったんですみたいな、これに関わる何かそういう歴史的な経緯ですか、それともちょっと資料の中に入れていただくと、そういうことがあってこの年代にこうだったんだねという、先ほどレジェンドというお話が委員からもありましたけれども、そういったところがちょっとあると。何かそういう意図で、小規模校増えたけど今減ってるじゃんみたいな、なんかその時に何か、その背景がわかりやすくなるかなと思うので、ご検討いただくと幸いです。</p> <p>最後、子どもと保護者という立場でございますので資料2番のアンケート調査、非常に統合に対して前向きなアンケートの結果ができてよかったなあというふうに思っております。</p> <p>ここに関してはですね、ただこの統合には先ほどお話もありましたけれども2種類の属性の方々がいらっしゃいますよね。もともと通ってた人と移った人たち、子ども、保護者全体そうですけれども。その2点の側面で見るとき、どちらかがどちらの偏りがあるのかなということについては少し気になった部分ではあります。もともとの学校を出たところに、引き続き通う子たちは、そんなないけれども、この内訳的に、ちょっと難しいんだよって言う子が、移転してきた子どもたちの方が割合が多いっていう現象も発生するのかなという意味合いで、その部分が、この表の中に表す必要はないかなと思いますが、しっかりフォローをいただけてるかなあということ。加えてこの資料2の1ページ目のところとか気になるのが、一番下の部分ですけれども、友達が少なくなった4.6%、遊び方が決めにくくなった11.9%、遊ぶ回数が減った9.9%。</p>

発言者	発言
会長	<p>全体的には前向きな回答にはなっているんですけども、そこからこぼれ落ちてしまう子たちがやっぱりどうしても出てくる。そのこぼれ落ちてしまった保護者としては、とてもこの前向きにこの統合をとらえるのが難しくなる。ということがあるので、この子たちに少し光が当たる、何かこうフォローの体制みたいなところがですね、あればあるだけより統合に関してより前向きになっていくんじゃないかなと。</p> <p>統合前には、かなりの保護者の方が不安があったという回答をしておりますので、こういった部分が以外に大事なポイントになるかもしれないと感じました。以上でございます。</p> <p>事務局からいかがでしょうか。 複数の点、ご指摘いただきましたけれども。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>まずPTAについての認識ということでなかなか今加入される方も少なくて運営が難しいというお話で、そういった点につきましては、配慮させていただきながら、学校の統合となりますと、新しい学校づくりに向けて、話し合いの場を持ったりするんですけども、例えばそういった会議への参加につきましても特定の方に固定ということではなくて、その会議出られる方というようなことで順番で出ていただくというな事をさせていただいたりしておりますので、状況に応じて我々としても、負担の少ないようにさせていただくのかなと思います。あと2点目ですね、地域との繋がりってということもあるということで、統合後の取り組みについての話であったかと思います。おっしゃられるようにですね、小学校というのは、地域にとって、避難所であったりですとか、いろいろな地域活動をやっているというコミュニティーの拠点であります。我々、統合を取り組む際には、統合後の跡地活用というのは全庁的に様々検討して公的な利用であったり、民間の利用であったり様々な形で活用になっていくという事でございますけれども、地域の避難所というのは継続するような形で、これまでもさせていただいておりますし、あと地域のいろんな活動ですね。引き続きできるように、例えば、民間に貸すというような場合であっても、契約の中にですね、地域で今こういう、盆踊りとスポーツイベントと、こういったものをやっていますので、引き続き、活動できるようにってところを契約の中にもうたって、運動場や体育館を使えるように行ったという事でございますので、そういったことも、周知してご理解いただけるようにしていきたいと思えます。また資料の方ですね、規模の推移の資料かと思えます、35人学級のことですとか、そういったことも、取り入れて、わかるようにといったことをご指摘いただきました。35人学級につきまして国の方針に基づきまして、名古屋市では、そもそも小学校1、2年生について、30人学</p>

発言者	発言
事務局	<p>級ということで、国の基準と異なる形で、より小規模な少人数の形での学校運営を進めているところでございますが、35人学級につきましては令和3年度かと思えますけど、そこから順次、3年生、4年生、5年生、6年生と35人ということで、学級の人数を減らしてきているということでございます。</p> <p>失礼いたします。アンケートにつきましては、当然たかしま小学校ですと、高坂小学校しまだ小学校、それぞれ人数の違いもありますし、元々通ってた子と、移ってきた子、それぞれ違うというところで、属性での分けで、こちらも把握しておるところでございます。属性によってどう違うのかっていうのを分析しながら、今後の統合の方に活かしていきたいと思えます。先ほど、事務局からも説明しましたけれども、今度統合する平田小学校、浮野小学校は、浮野小学校は全て単学級、平田小学校は一方で20学級ぐらいでかなり差があるところでございます。そういったところですね、浮野小学校の子どもたちが、ストレスを感じないように、いろいろ、学校とも相談しながらスクールカウンセラーとも相談しながらですね、対応していかなければいけないと思っております。</p>
事務局	<p>まずPTAのことですね。人数がなかなか少ないっていうこともあった。やっぱり以前と違って今は任意での活動ということで、入会の申し込みをしっかりとっていくということで、多くのPTAの中で、加入率が、低下してきている傾向があるんじゃないかということで、担い手が少ないとそういった課題がある。これまで統合してきた学校の中で、やっぱり学校が統合するということは、PTAも1つになっていくっていうことで、このタイミングをうまくとらえながら、これがいいきっかけになるので、活動だとか、役員の組織、人数、そういったことを見直していくような傾向があるかと思っています。入会はしっかりとっていくような方向で新しいPTAを作るときにはこちらから情報提供しながらサポートしているんですが、今お忙しい方がたくさんいらっしゃる中でその中でできる人ができる時にできる活動をやっていくというようなことで、決まった活動は少なくしながらも、ボランティア的に活動してもらえようそんな活動が新しい作るPTAでは行われている。学区とのやっぱり繋がりがっていうのも、これまで長年、各PTAが各地域と繋がっているんで、当初はやっぱり昔のそこに住む地域とそこに住むPTAの方っていう関わりが多いんですけども、例えば笹島小学校中学校のPTAのお話を伺ったところによりますと、六反の方ではお祭りがあってそこのお祭りで出店を出す場合に、どこの地域に住んでいる保護者の方がお手伝いをするかということ、六反の方だけじゃないもう六反の保護者も新明の保護者も混ざって笹島小中学校の保護者としてお手伝いをしていると聞いています。新明学区の取り組みとし</p>

発言者	発言
委員	<p>でも、夏休みに山の方に連れていくような取り組みがあったそうなんですけどそこでも、両方のPTAが関わっているっていうお話も聞きますので、当初はやっぱりもともとの地域の方とPTAの方が関わることもあるんですけども、そういったことを参考に考えていくと、新しくできたPTAが流れやっていくうちに、どちらではなくて、両方の地域が関わることもあるのではないかと思います。</p> <p>もう1点ですね、結構、朝の活動の難しさみたいなところの部分だけ、これはもう、共有みたいな話なんですけれども、働く保護者、僕も働く側として先生方の働き方の改革で今進んでいるところだと思います。</p> <p>登校時間ですね開門時間というのが以前に比べて、15分から20分ぐらい、学校によってはですけども、遅くなっているということが現状としてあります。そうするとですね我々の動き的にはもう出勤時間なんです。なので子どもたちを分団に送り出して、もうそのタイミングで子どもがマンションの下で待ってるんだけど、行ってくるねお母さん、お父さんは行ってくるねという、そこから離れるという現象も、エリアによっては発生してくるという形になっています。</p> <p>なので開門とかですね登校時間を早めてくれではなく、我々としては、同じ働く側としての気持ちもわかりますので、その部分は今の働き方改革は、良いんだけど、そうすると朝ですね、立ってということの難しさがより当番的な活動の難しさがより、より、より出てくるというところがある。特に地域の子どもたちを安全に通学する、帰りですね、帰宅の安全面っていうところに関しては、なかなかこうPTAとして親として力になりづらい部分っていうのが出てきているんだということをご理解いただけるとありがたいと思います。すいません。</p>
会長	<p>はい。今、学校の働き方改革を実質的に進めていく上で、いろんな変化が、教育を取り巻く環境に発生してきているんですけども、その問題は他のところでも、考えていけないといけない点ですので、教育委員会の方でも、強く意識していただけるとよいかと思います。</p>
委員	<p>区政協力員の議長やっております。</p> <p>これ見ますと歴史を感じます。ここの中に載っている学校というのは、我々、例えば中学校なんていうと、前津中学というのは人数が多すぎて、分校ができていた状況で、それが今は少ない。</p> <p>それから、西区ですけども、我々、今、浮野がありましてですね、いやこれはもう、山田というおっきな村があった時に、人が増え、分校ができた。その中で要するに昔は、田んぼ道を一生懸命通った、そういう時代のときに浮野と平田というところは道の真ん中に大きな立派な道路が入っている。それを今渡りながら、通学せなきゃいけない。これ</p>

発言者	発言
	<p>も時代ですよ。昔は私は喜んで走っていますけど。今はそういうわけにいかない。</p> <p>そういう時代がずっと続いて、我々区政協力委員は今、人が少なくて大変なんです。西区の中でも 19 学区あって一番最後にできた学区なんです。学校のすぐ横にはおっきな公園があって、区画整理やるときに、地主さんが協力して、学校の横にいっぱい土地を出していただいて、公園を作っていただきました。そういうような環境で、非常にいい環境です。我々のところでは、先ほど通学指導員という方が、新しい言葉などでよくわからないんですけども、PTAは毎日通学のときに対応しています。そして学区の中では、交通事故ゼロ、毎日しんどいんで、ゼロの日のときは、学区の方も人を出しています。老人会、それから女性、そして交通を担当する学区で雇った人を対応してやっております。</p> <p>あとは、5 のつく日は、民生の方の見守り活動、下校時に、民生が当番を決めて、各通学路を見てもらって、だから地域の中でも、結構そうやって、見守りをやっております。</p> <p>そういうことからいくと、これは、最終的には、PTAさんは毎日のことですので、大体、大変な、人も少なくなっているし、忙しい人ばかりなんで、だめだという事も聞いておりますから、その辺のところをです。ねどうやって吸収していくかっていうのは、本当に、にわかにお友達関係を作ってくれるより仕方ない。今も、我々のところは元気な老人がいないんです。朝は早く起きるけど元気じゃないから、断る理由をいっぱいできています。元気なおばさんもいません。はい。ごめんなさい。女性もいません。そういうような形です。ね、本当に変わってきております。その中でも、隣同士を一生懸命こう見ようと思っても、隣が何をしてるかわからない。要するに、昔の戸建てじゃなくて、マンションというそういう形で、縦に長くなってくると、そこの中で、隣同士でも話をしないことをよく聞いてますので、そういうようなところをどうやってやっていくかというのが今、我々区政協力委員会の中で、すべてが問題になっております。だからもう、皆さんのしゃべってることは本当にもうよくわかりますけれども、これ、1 つ 1 つ、1 歩踏み出してくれる人は、つないでいかないとなかなかできない。ということですね。区政協力委員は自分の仕事だけじゃなくて、今、我々のところは、区政協力員って何をやってんだっていう話。町内会長、自治会長って何だ、もう結びついてないっていう状況でやっておりますので、その中を、もう新しい人がどんどん入ってきて、訳もわからず、断る理由忙しいですと言われるとなかなか続かない。そういうことをやっておりますので、小学校の 6 年間というのは非常に大きなウエート。で、今年の成人式の時に、我々は中学校区でやってるんですね。もう分かれた中の中学校区でやっていると、もう帰っていく時にみんな嬉しそうにしゃべってます。それを見て、我々、年寄りと言ったらおかしいですけども、学区の人間は、ず</p>

発言者	発言
会長	<p>っと続けるようにやろうかというような形でやっておりますので、そういう1つ1つの積み重ねしか仕方ないんで、何かこうありましたら、逆に地域の区政協力委員、それから、PTA、老人会というところに、少しでも足を入れていただくような繋ぎにしてもらわないと、多分これ難しいんじゃないかなと思います。最後に申し訳ない。長々としゃべってしまいましたけど、こういうような状況で今やっておりますので、また何かありましたら教えてください。</p> <p>今先ほど来出ておりますように保護者の状況も変わってきていますし、地域の状況も大きく変わってくる中での、学校統合ということになりますので、また地域のあり方、保護者のあり方等にもいろんな影響を及ぼすことを、我々のこの会で審議しているっていうことを、我々は受けとめたいと思います。少しでもですね、子どもにとっても、保護者にとっても地域にとってもいい形での、それこそ学校づくりが、できればと考えておりますので、教育委員会の方でもそのためのサポートですね、何ができるかっていうことをこれまで以上に考えていただけると大変ありがたく存じます。</p> <p>ちょっともうそろそろ時間が来ておまして大体皆さんにご意見いただくことができたのではないかなと思います。</p> <p>この会合自体、年度内にもう1回ございますし、その次の年度も開かれていくと思いますので、またそういう場でもご意見をいただければと思います。</p> <p>では、これでナゴヤ子どもいきいき学校づくり推進審議会を終了したいと思います。</p> <p>皆さん、ありがとうございました。では、事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>会長、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様、長時間にわたりまして、ご熱心なご議論いただきましてどうもありがとうございます。</p> <p>以上をもって閉会とさせていただきます。</p>